

福岡平野及び筑後平野の活断層図

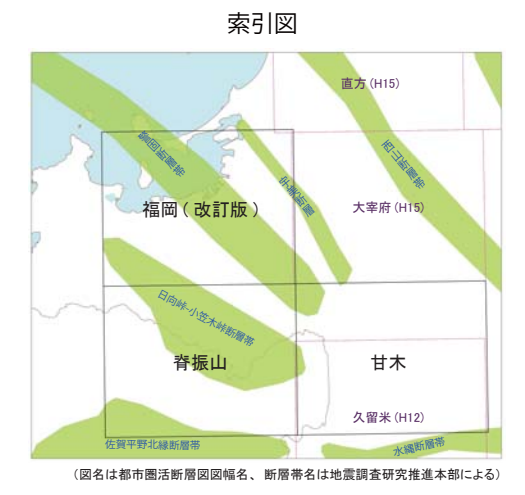
- 凡例
- 活断層
 - 推定活断層
 - 活断層(海底部)
 - +++++ 鉄道
 - 鉄道(トンネル)
 - 高速・有料道路
 - 国道
 - 主な河川
 - 平成17年福岡県西方沖地震の震央
(2005.3.20が本震の震央、
2005.4.20が最大余震の震央)
- ※凡例のうち、活断層は「明瞭」「位置やや不明瞭」「伏在部」を統合、推定活断層は「地表」「地表(位置不明瞭)」を統合して表示しています。

「福岡平野及び筑後平野の活断層図」は、基盤地図情報「数値標高モデル5mメッシュ(標高)」および「同10mメッシュ(標高)」を使用して作成した地形アナグリフ画像に、活断層の分布を重ねて表示したものです(活断層は都市圏活断層図の調査で明らかになったもののみを图示しています)。

福岡平野及び筑後平野は、筑後川などの諸河川が山地・丘陵を削り、運搬した土砂を堆積させて形成した沖積平野です。活断層は山地・丘陵の麓、段丘の境界付近を通っており、この地域の平野と山地の分化に影響を与えていると考えられます。

なお、この図は赤青メガネ(左目に赤色、右目に青色のフィルター)を通してみると地形を立体的に見ることができ、地域の地形を直感的に把握することができます。

(地形アナグリフ画像作成 後藤秀昭(広島大学))



国土地理院技術資料 D1-No.723
1:25,000都市圏活断層図 警固断層帯とその周辺「福岡(改訂版)」
「甘木」「脊振山」解説書(千田昇・堤浩之・後藤秀昭) 付図